

**貯 法**

- 遮光して、火気を避けて保存
- 気密容器



**【禁忌(次の部位には使用しないこと)】**  
 損傷皮膚及び粘膜 [刺激作用を有する]

**【使用上の注意】****1. 重要な基本的注意**

- 1) 薬液を含浸させた消毒綿は、気密容器に入れて保存すること。  
[アルコールが蒸発して殺菌力が減退する]
- 2) 眼に入らないよう注意すること。入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。
- 3) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。  
[エタノール蒸気に大量又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある]

**2. 副作用(本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない)**

種類\頻度	頻度不明
過敏症 注)	発疹 等
皮膚 注)	刺激症状

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

**3. 適用上の注意**

- 1) 投与経路：外用にのみ使用すること。
- 2) 使用時 (1) 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。(2) 本剤は血清、膿汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。(3) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具等には変質するものがあるので、このような器具は長期間浸漬しないこと。(4) 本剤は引火性・爆発性があるため、火気(電気メス使用時も含む)には十分注意すること。(5) 金属器具類を長時間浸漬する必要がある場合は、腐食を防止するために0.2~1.0%の亜硝酸ナトリウムを添加すること。

**4. その他の注意**

承認外の経皮的エタノール注入療法(PEIT)使用例で、注入時の疼痛、酷酔感、発熱、本剤の局所外流出による重篤な胆道・腹腔内等での出血、肝梗塞、肝不全等が報告されている。

アルコール類・危険等級Ⅱ・水溶性 **火気厳禁**

(JD5)A

日本薬局方

**エタノール**

Ethanol

**エタノール「ヤマゼン」**

製造販売元  
**山善製薬株式会社**

大阪市中央区道修町2丁目2番4号

2007年7月改訂(第2版)  
 薬価収載 1982年8月  
 販売開始 1982年8月

日本標準商品分類番号 872615  
 承認番号 16000AMZ06497  
 再評価結果 1982年8月

**外用殺菌消毒剤****【組成・性状】**

- 組成：エタノール95.1~96.9vol%含有(15℃)
- 性状：無色澄明の液である。水と混和する。  
燃えやすく、点火するとき、淡青色の炎をあげて燃える。揮発性である。比重(15℃):0.809~0.816

**【効能・効果】【用法・用量】**

効能・効果	用法・用量
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 手指・皮膚の消毒</li> <li>● 手術部位(手術野)の皮膚の消毒</li> <li>● 医療機器の消毒</li> </ul>	本品830mLを精製水でうすめて1000mLとし、これを消毒部位に塗布する。

**【薬効薬理】**

本剤は使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌等)及び一部のウイルスに対する殺菌効果は期待できない。

製造番号

使用期限